

スススススススススススス

速速速速

第一回

1.スラッシュリーディングってなに?

(1)スラッシュリーディングとは。

意味の切れ目ごとにスラッシュ（/）を引いて区切りながら、前から前から（つまり左から右に向かって）、読み返しをすることなくどんどん英文を読み進めていく読解法。

よく「同時通訳式」とか「直読直解」などとも呼ばれている。

(2)スラッシュリーディングが特に威力を発揮する英文。

文章構造はそれほど複雑ではないが、(情報)量が多く、短時間での素早い理解と読むスピードが要求されるようなタイプの英文。

尙逆にスラッシュリーディングだけでは歯が立たないのは、国立二次試験、難関私立大等の下線部和訳問題など、

①構造が複雑で精緻な構造把握・分析が要求される

②内容が高度で、抽象的な思考が要求される

ような英文だ。

第二回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(1)前置詞や副詞の前で／

① I was standing / at the bus stop / opposite the gas station

「私は立っていました」 「バス停に」 「ガソリンスタンドの反対側の(バス停に)」

/ on Route 300.

「300号線沿いの(ガソリンスタンドの)」

② People spend more time / away from their jobs / than ever before.

「人々はより多くの時間を使っている」 「自分の仕事から離れて」 「かつてないほど」

③ She felt guilty / about telling a lie / to the police / at the examination.

「彼女は良心の呵責を感じた」 「ウソをついたことに対して」 「警察に」 「取り調べの時に」

④ I stopped my car / in front of the house / at the sight of my wife.

「ボクは車をとめた」 「家の前で」 「妻の姿を見て」

⑤ What is the difference / between studying and practicing / for an average student ?

「違いとは何だろうか」 「勉強と練習の間の(違い)」 「平均的な学生にとって(は)」

⑥ One / of the best examples / of the importance / of knowledge

㊟「1つは」 「最もよい例のうちの(1つ)」 「重要性についての」 「知識の(重要性)」

/ is found / in the area / of vocational choice.

㊿「見ることができる」 「分野の中に」 「職業選択という(分野)」

【全文&全訳】

- ① I was standing at the bus stop opposite the gas station on Route 300.
「私は、300号線沿いのガソリンスタンドの反対側のバス停に立っていました」
- ② People spend more time away from their jobs than ever before.
「人々はかつてないほど多くの時間を、自分の仕事から離れて使っている」
- ③ She felt guilty about telling a lie to the police at the examination.
「彼女は、取り調べの時に警察にウソをついたことに対して、良心の呵責を感じた」
- ④ I stopped my car in front of the house at the sight of my wife.
「ボクは妻の姿を見て、家の前で車をとめた」
- ⑤ What is the difference between studying and practicing for an average student ?
「平均的な学生にとって、勉強と練習の間の違いとは何だろうか」
- ⑥ One of the best examples of the importance of knowledge is found in the area of vocational choice.
「知識が重要であるということの最も良い例の1つは、職業選択という分野の中に見ることができる」

第三回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(2)that等の接続詞（あるいは疑問詞節・関係詞節）の前で／

① Nancy thought / that she might become alone.

「ナンシーはthat以下のことを思った」 「自分が一人きりになってしまうかもしれない(思った)」

② It doesn't matter / what kind of thought / he has.

「(それは)重要ではない」 「どんな(種類の)思想を」 「彼が持っているかは(重要ではない)」

③ I like women / who are kind to old people.

「ボクはwho以下のような女性が好きだ」 「お年寄りに親切な(女性が)」

④ This is a novel / I bought yesterday / for my daughter.

「これは小説だ」 「私が昨日買った」 「娘のために」

⑤ At the last meeting on Friday, Mat brought some newspaper articles which he read aloud to the members.

【語句】 article:記事

aloud:声に出して

At the last meeting / on Friday,

「最後の会議で」 「金曜の」

/ Mat brought some newspaper articles / which he read aloud / to the members.

「マットはいくつかの新聞記事を持ってきた」 「そしてその記事を彼は読み上げた」 「出席者に(向かって・対して)」

- ①関係詞の手前で／を引く
- ②／を引いた所で「そして、しかし、なぜなら、つまり」といった接続詞(やつなぎ語)を挟んであげる
 Ⓜどの接続詞にするかは文脈判断。
- ③関係詞に先行詞を代入して訳す。

Ⓜ特に「前置詞+関係代名詞」の場合、その前置詞の手前で／を引き、関係代名詞に先行詞を代入して、その部分の訳をまとめるようにするといい。

(ex) I visited a town / in which / I met a strange old man.

「私はある町を訪れた」 「そしてその町で」 「私は奇妙な老人と出会った」

【全文&全訳】

- ① Nancy thought that she might become alone.
「ナンシーは自分が一人きりになってしまうかもしれないと思った」
- ② It doesn't matter what kind of thought he has.
「彼がどんな（種類の）思想を彼が持っているかは重要ではない」
- ③ I like women who are kind to old people.
「ボクはお年寄りに親切な女性が好きだ」
- ④ This is a novel I bought yesterday for my daughter.
「これは娘のために私が昨日買った小説だ」
- ⑤ At the last meeting on Friday, Mat brought some newspaper articles which he read aloud to the members.
「金曜の最後の会議で、マットはいくつかの新聞記事を持ってきて、その記事を出席者に読み上げた」

第四回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(2)that等の接続詞（あるいは疑問詞節・関係詞節）の前で/

- ① Jack has the burning desire / for beauty / which we can find
「ジャックは燃えるような強い願望を持っている」 「美に対する(強い願望を)」 「そしてそのような願望を私達は見ることができる」

/ only in true artists.
「真の芸術家の中にのみ(見ることができる)」

- ② A sustainable society is one / in which /
「持続可能な社会とはin which以下のような社会だ」 「つまりその社会(の中)では」
people use natural resources carefully, /
「人々は天然資源を慎重に活用する」
always thinking / about how to replace them.
「そして常に考えている(社会である)」 「それをどのように代替すべきかについて(考えている)」

壹代名詞の one は「a+(既出の)単数名詞」の代用。この文中では a society を表す。

- ③ Vitamin is an important substance for human survival without which our body
ビタミン 物質
can't function.
機能する

③ Vitamin is an important substance / for human survival / without which /

「ビタミンは重要な物質だ」

「人間の生存のために」

「そして(もし)それがなければ」

our body can't function.

「私たちの体は機能しない」

④ Lincoln is a famous American politician, about whom many books have been written.

リンカーン

政治家

④ Lincoln is a famous American politician /, about whom /

「リンカーンは有名なアメリカの政治家だ」

「そして彼については」

many books have been written.

「多くの本が書かれてきた」

⑤ We were interested in the information, according to which there was some possibility

可能性

to increase sales in the market.

売り上げ

市場

⑤ We were interested in the information /, according to which /

「私たちはその情報に関心があった」

「というのはそれによれば」

there was some possibility / to increase sales / in the market.

「可能性があったからだ」

「売り上げを伸ばす(可能性)」 「市場における」

- ⑥ He set out on a dangerous adventure in the course of which he had to feel his way with the utmost care.

【語句】 set out on A: Aに乗り出す(出発する)
feel one's way: 手さぐりで進んでいく
with the utmost care: 最大の注意を払って
in the course of A: Aの間で(において)

⑥ He set out / on a dangerous adventure / in the course of which /

「彼は出発した」 「危険な冒険に(出発した)」

「そして[というのは]その冒険の間(においては)」

he had to feel his way / with the utmost care.

「彼は手さぐりで進まねばならなかったのだ」

「最大限の注意を払って」

【全文&全訳】

- ① Jack has the burning desire for beauty which we can find only in true artists.
「ジャックは、美に対する燃えるような強い願望を持っており、そしてそのような願望を真の芸術家の中にのみ、私達は見ることができる」
- ② A sustainable society is one in which people use natural resources carefully, always thinking about how to replace them.
「持続可能な社会とは、人々が天然資源を慎重に活用し、常にそれをどのように代替すべきかについて考えているような社会である」
- ③ Vitamin is an important substance for human survival without which our body can't function.
「ビタミンは人間の生存のために重要な物質だ。（もし）それがなければ私たちの体は機能しない」
- ④ Lincoln is a famous American politician , about whom many books have been written.
「リンカーンは有名なアメリカの政治家であり、彼については多くの本が書かれてきた」
- ⑤ We were interested in the information , according to which there was some possibility to increase sales / in the market.
「私たちはその情報に関心があった。というのは、それによれば市場における売り上げを伸ばす可能性があったからだ」
- ⑥ He set out on a dangerous adventure in the course of which he had to feel his way with the utmost care.
「彼は危険な冒険に出発した。そしてその冒険の間、彼は最大限の注意を払って、手さぐりで進まねばならなかった」

第五回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(2)that等の接続詞（あるいは疑問詞節・関係詞節）の前で／

① The snow storm raged all night, during which time the climbers had to wait to be

吹雪

吹き荒れる

登山者

rescued in the tent.

② New resource becomes useful matter which becomes waste which is then absorbed
back into the ecosystem to become future raw material.

【語句】 resource:資源

waste:廃物

absorb:吸収する

raw material:原材料

ecosystem:生態系

【解答 & 解説①】

The snow storm raged all night /, during which time / the climbers had to wait /

「その吹雪は一晩中吹き荒れた」

「そしてその間」

「登山者達は待たなければならなかった」

to be rescued / in the tent.

「救出されるのを」

「テントの中で」

「その吹雪は一晩中吹き荒れ、そしてその間、登山者達はテントの中で救援を待たなければならなかった」

📌 「,+前置詞+which+名詞」の形になる英文は、その部分を「and[but]+前置詞+that[those]+名詞」で書き換えられる。①の英文も、以下のように書き換えられる。

⇒ The snow storm raged all night / and during that time / the climbers had to wait / to be rescued / in the tent.

The unit might not get the information, in which case they will be exposed to danger.

部隊

～にさらされる

⇒ The unit might not get the information / but in that case /

「その部隊はひょっとするとその情報を得ていないかもしれない」 「しかしその場合」

they will be exposed to danger.

「彼らは危険にさらされることになるだろう」

「その部隊はひょっとするとその情報を得ていないかもしれないが、しかしその場合、彼ら(部隊)は危険にさらされることになるだろう」

【解答 & 解説②】

New resource becomes useful matter / which becomes waste

「新しい資源が役立つ材料になり」

「そしてそれが廃(棄)物となり」

/ which is then absorbed back into the ecosystem / to become future raw material.

「そしてその後、生態系に再び吸収され」

「そして(それが)未来の原材料となる」

「新しい資源が役立つ材料になり、そしてそれが廃(棄)物になり、そしてその後、生態系に再び吸収され、そして(それが)未来の原材料となる」

第六回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(3)後置修飾語の前で /

① There was a little girl / sleeping on the bench.

「小さな女の子がいた」 「ベンチの上で眠っている(小さな女の子が)」

② The man / standing over there / is the owner / of the store.

「男の人は」 「向こうに立っている(男の人は)」 「ご主人です」 「そのお店の」

③ I was only a kid / raised in the countryside / of Hokkaido.

「私は単なるガキに過ぎなかった」 「田舎で育った(ガキ)」 「北海道の」

(4)to不定詞の前で /

④ The people stood up / to see the parade better.

「人々は立ち上がった」 「パレードがもっとよく見えるように」

⑤ What should I do / to master English?

「ボクは何をすべきだろう」 「英語をマスターするために」

⑥ That is the way / to understand true art.

「それがその方法だ」 「真の芸術を理解するための」

⑦ His ambition / to become the world swimming champion / was understandable.

「彼の野望」 「水泳の世界チャンピオンになるという(彼の野望)」 「は理解できる」

⑧ He went to Africa in 1983, / never to come back

「彼は1983年にアフリカに行った」 「そして二度と戻ってくることはなかった」

⑨ He must be crazy / to go out / in this stormy weather.

「彼は狂っているに違いない」 「出て行くなんて」 「こんな嵐の中を(出て行くなんて)」

⑩ Nancy was relieved / to hear the news / from her mother.

「ナンシーはホッとした」 「その知らせを聞いて」 「母親からの(知らせ)」

⑪ You might take him for an American / to hear him talk / in English.

「君は彼をアメリカ人だと思うかもしれない」 「もし彼が話すのを聞けば」 「英語で」

【全文&全訳】

- ① There was a little girl sleeping on the bench.
「ベンチの上で眠っている小さな女の子がいた」
- ② The man standing over there is the owner of the store.
「向こうに立っている男の人は、そのお店のご主人です」
- ③ I was only a kid raised in the countryside of Hokkaido.
「私は北海道の田舎で育った単なるガキに過ぎなかった」
- ④ The people stood up to see the parade better.
「パレードがもっとよく見えるように、人々は立ち上がった」
- ⑤ What should I do to master English?
「英語をマスターするために、ボクは何をすべきだろう」
- ⑥ That is the way to understand true art.
「それが真の芸術を理解するための方法だ」
- ⑦ His ambition to become the world swimming champion was understandable.
「水泳の世界チャンピオンになろうという彼の野望は理解できる」
- ⑧ He went to Africa in 1983, never to come back
「彼は1983年にアフリカに行き、そして二度と戻ってくることはなかった」
- ⑨ He must be crazy to go out in this stormy weather.
「こんな嵐の中を出て行くなんて、彼は狂っているに違いない」
- ⑩ Nancy was relieved to hear the news from her mother.
「ナンシーは、母親からの知らせを聞いてホッとした」

⑪ You might take him for an American to hear him talk in English.

「もし彼が英語で話すのを聞けば、君は彼をアメリカ人だと思うかもしれない」

3. 「感情の原因」を表す不定詞とは

- (1)不定詞が感情の原因を表す場合、不定詞の前に感情を表す語(品詞としては「動詞」や「形容詞・分詞)がある。
- (2)その場合、その不定詞部分は「～して」「～できて」と訳せばいい。

(ex) I'm glad to see you.

(感情)

あなたに会うことができうれしいです

4. 「判断の根拠」を表す不定詞とは

- (1)不定詞が判断の根拠を表す場合、不定詞の前に人の性質・性格を表す語(品詞としては「名詞」や「形容詞・分詞)やgood型・bad型の形容詞[分詞]などがある。
留意するに「判断を表す語」が不定詞の前にある！
- (2)その場合、その不定詞部分は「～なんて」「～とは」と訳せばいい。

(ex) He was careless to say such a thing to her.

(性格)

彼女にそんなことを言うなんて彼は不注意だった

5. 「条件」を表す不定詞とは

- (1)不定詞が条件を表す場合、主節に推量の助動詞(will[would], may[might], can [could]等)があることが多い。
留意に「強制力の強い助動詞」が主節のVなら、その不定詞句は「目的(～するために)」の可能性が高い。
- (2)その場合、その不定詞部分は「もし～(なら)」と訳せばいい。

(ex) To say it carelessly, you may be misunderstood.

もし不注意にそんなことを言ったら、君は誤解されるかもしれないよ

第八回

特別講義 不定詞の訳出のマスター(2)

6.be to 構文

(1) be to 構文か、単なる「SVC」かの見極め方は、be動詞をはさんで

① 前後がイコール関係になる ⇒ 「SVC」

(ex) My dream is to be an actor. ☞ 「My dream = to be an actor」なのでSVCとわかる。
私の夢は役者になることです

② 前後がイコール関係にならない ⇒ be to 構文

(ex) You are to come here on time. ☞ 「You ≠ to come」なのでbe to 構文とわかる。
君はここに時間通りにこななければならない

(2) be to 構文は、助動詞の will, can, should[must] のどれかでたいてい言い換えることができる

☞ 要するに「Sは(客観的・外的状況によって)～する方向へと進んでいる
「向かっている」ということを表している。to は「→」とイメージする
といい。

☞ should[must]の意味になる可能性が最も高い。

(3) be to 構文の表す意味。

① 予定 「～する予定になっている」

これは助動詞の will と同じで未来を表す。したがって未来を表す副詞(句)と共に用いられることが多いのが特徴。

(ex) The concert is to begin at seven.

コンサートは7時に始まる予定になっています

②運命 「～する運命になっていた」

これは「予定」の be to が過去時制で用いられたもの。never とセットで用いることも多い。その場合の訳し方は「決して～することはなかった」となる。

(ex) Mr. Brown was never to see his home town again.

ブラウンさんは二度と故郷を見ることはなかった

③可能 「～できる」

これは助動詞の can と意味は同じ。主に否定文で使われることが多く、「be動詞+to+be+p.p.～」という形になることも多い。

(ex) The ring was not to be found.

④p.p.は「過去分詞」のこと。

その指輪は見つからなかった

④意図(思) 「～するつもりだ」

たいてい if 節の中で用いられる。

(ex) If you are to succeed in anything, you have to make a good start.

どんなことでも成功するつもりなら、良いスタートを切らないといけない

⑤命令・義務 「～すべきだ」「～しなくてはならない」

これは助動詞の should, must と意味は同じ。実は be to 構文で一番多いのが「命令・義務」を表すもの。だから英文中で be to 構文に出くわし、なおかつ意味を特定する目ぼしいヒントが見当たらない場合、まず「命令・義務」で訳してみるといい。

(ex) You are to pay your debt as soon as possible.

借金はできるだけ早く返さなければいけない

第九回

特別講義 不定詞の訳出のマスター(3)

「他動詞 + $\frac{\text{to do}[\text{原形}]}{0} \sim$ 」型の訳出とその分析

1. 不定詞を目的語に取る動詞の意味は、基本的に「希望(～したい)」系、「意図(～するつもりだ)」系、「決心(～することに決める)」系の3タイプ。

不定詞の意味的な最大の特徴は、

- ①「未来志向」
- ②「積極性」

したがってそのような性格を持つ不定詞を後ろに(自身の目的語として)取る動詞は、(不定詞と同じように)未来に向かって何かをしようという、これまた「未来志向」「積極性」が感じられる動詞が多い(「類は友を呼ぶ」、同じ性格だから結びつこうとする)。その(つまり「未来志向」「積極性」型の動詞の)3大代表選手が「希望(～したい)」「意図(～するつもり)」「決心(～することに決める)」を表す動詞になる。

2. 「他動詞+to」を一種の助動詞ととらえる。

結論として、後ろに不定詞を目的語をとっている動詞の型(つまり「動詞+to V [原形]～」)を見つけたら、

他動詞 + to

部分は「希望」「意図」「決心」(といった「未来志向」「積極性」)のいずれかの意味をV [原形]～に付け加える、一種の助動詞だとみなすといい。

「助動詞」というとらえ方がまだしっくり来ない人は、以下の英文を見てほしい。

(ex) The meeting will be successful. その会議は成功するだろう

この英文中の助動詞 will は The meeting is successful(会議は成功する)に「確実にそうなるだろう」という一種の「予測・判断」を付け加える働きをしている。これ(上例の will)と同じように

(ex) He longed to return home. 彼はしきりに家に帰りたがった

この英文中の longed to は、He returns home(彼は家に帰る)に「しきりにそうし たがった」という「(主語の)希望」を付け加える働きをしている。

また、

(ex) He attempted to settle the dispute. 彼はその争いを解決しようとした

この英文中の attempted to は、He settles the dispute(彼はその争いを解決する)に「しようとした[試みた]」という「(主語の)意図」を付け加える働きをしている。

このように、V[願形]~にある種の意味を付け加えるという点で、「他動詞+to」は、will, can, may といった助動詞とその働きが同じなのだ。

⚠️実際 ought to(～すべきだ)、have to(～しなければならない・～するに違いない) used to(昔よく～したものだ)、be going to(～するだろう)等は、文法書でも助動詞として紹介されている。

3. 「他動詞+to do[願形]~」の中で注意したい表現。

○

ただし上記で紹介したもののうち、イディオム的なものや refuse to(～するのを拒む)、hesitate to(～するのをためらう)、fail to(～しない[できない])のような「拒絶・否定・不行動」を表すものには注意したい。

あるいは stop to do[願形]~(～するために立ち止まる)のように、不定詞が目的語以外で、ある動詞の直後に付く場合は、上記のルールはあてはまらない。

以下に「希望・意図・決心」の範疇に入らないものの具体例をあげておく。

- ① used to do[原形]～ 1. 「(昔)よく～したものだ」 [過去の習慣]
2. [used to beで] 「(昔)～だった」 [過去の状態] =was[were]
- ② have to do[原形]～ 「～しなければならない」 =must
- ③ ought to do[原形]～ 「～すべきだ」 =should
 ㊦①～③は、一般的には助動詞(表現)と解されている。
- ④ come[get] to do[原形]～ 「～するようになる」 ㊦自動詞+to do[原形]
- ⑤ happen[chance] to do[原形]～ 「たまたま～する」 ㊦自動詞+to do[原形]
- ⑥ tend to do[原形]～ 「～しがちだ」 「～する傾向にある」
- ⑦ fail to do[原形]～ 1. 「～しない」 =don't do[原形]
2. 「～できない」 =cannot do[原形]
- ⑧ seem[appear] to do[原形]～ 「～するように見える[思われる]」 ㊦自動詞+to do[原形]
- ⑨ start[begin] to do[原形]～ 「～し始める」
- ⑩ learn to do[原形]～ 「～できるようになる」
- ⑪ manage to do[原形]～ 「(どうにか)～できる」
- ⑫ help (to) do[原形]～ 「～するのに役立つ」
- ⑬ continue to do[原形]～ 「～し続ける」 =continue doing～
- ⑭ cease to do[原形]～ 「～しなくなる」 =cease doing～

一種の助動詞とみなした方がいい不定詞表現の、その他のものをあげておこう。
 中学英語の be able to do[原形]～などもこの仲間。

- ① 「be + 形容詞[分詞] + to do[原形]～」の形で決まり文句的に使うもの。
- (1) be anxious[eager/keen] to do[原形]～ 「～することを熱望している」
- (2) be ready[willing] to do[原形]～ 「よろこんで～する」
- (3) be sure[bound/certain] to do[原形]～ 「必ず～するだろう」
- (4) be apt[prone/liable] to do[原形]～ 「～しがちだ」

- (5) be likely to do[原形]～ 「～する可能性がある」
 ☞ be unlikely to do[原形]～ は「～する可能性がない」。
- (6) be going to do[原形]～ 「～するつもりだ、～するだろう」
- (7) be supposed to do[原形]～
 1. 「～すると思われている」
 2. 「～することになっている」
 3. 「～すべきだ」
- (8) be designed to do[原形]～ 「～するように作られている」

② be to 構文。

※ be to 構文は、助動詞の will, can, should[must] のどれかでたいてい言い換えることができる一種の助動詞と、これも考えるといい(should[must]の意味になる可能性が最も高い)。

第十回

特別講義 不定詞の訳出のマスター(4)

「他動詞 + $\frac{\text{to do}[\text{原形}]}{\text{O}} \sim$ 」型の訳出とその分析

4. シンプルで実戦的な品詞分解[構造分析]を心がける。

「他動詞^{+to}」を助動詞ととらえるということは、品詞分解[構造分析]においても

He will solve the problem.

を

$\frac{\text{He will solve the problem.}}{\text{S V O}}$ ☞ 「助動詞+do[原形]」をワンセットでVととらえる。

と分析するのと同じように、

He tried to solve the problem.

という英文も

$\frac{\text{He tried to solve the problem.}}{\text{S V O } \langle \text{O} \rangle}$ ☞ the problem は不定詞(to solve)の目的語。

というような分析の仕方をするのではなく、

$\frac{\text{He tried to solve the problem.}}{\text{S V O}}$

と(シンプルに)分析するようにしよう。

そして同じように、

This fund is designed to help refugees.

この資金は難民を援助するためのものです

He is likely to succeed.

彼は成功しそうだ

という英文も

This fund is designed to help refugees.

S V O

He is likely to succeed.

S V

と(これまたシンプルに)分析するようにしよう。

第十一回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(5)主語が長い場合は、主語と(述語)動詞の間で／

① That he had deceived his wife for three years / surprised her.

「彼が奥さんを3年間だましていたということが」

「彼女を驚かせた」

② What he told me the other day / was true.

「先日彼が私に話してくれたこと」

「(は)本当だった」

③ Can the people with pride in them / stand such treat ?

「自身にプライドを持っている人々が」

「そんな扱いに耐えられるだろうか」

(6)目的語の手前で／

④ Mr. Jones recorded / his child's birthday party / with a video camera.

「ジョーンズ氏は記録した」

「彼の子供の誕生パーティを」

「ビデオカメラで」

⑤ I remember / with total clarity / the report / of the shooting / of John F Kennedy.

「私は覚えている」

「きわめて鮮明に」

「報道を」

「銃撃の(報道)」

「ジョン・F・ケネディの(銃撃)」

⑥ I've learned / to my cost / that it's important to save data frequently.

「私は学んだ」 「ひどい目にあって」 「頻繁にデータを保存することが大切だということを」

【全文&全訳】

- ① That he had deceived his wife for three years surprised her.
「彼が奥さんを3年間だましていたということが彼女を驚かせた」
- ② What he told me the other day was true.
「先日彼が私に話してくれたことは、本当だった」
- ③ Can the people with pride in them stand such treat ?
「自身にプライドを持っている人々が、そんな扱いに耐えられるだろうか」
- ④ Mr. Jones recorded his child's birthday party with a video camera.
「ジョーンズ氏は、彼の子供の誕生パーティをビデオカメラで記録した」
- ⑤ I remember with total clarity the report of the shooting of John F Kennedy.
「私はジョン・F・ケネディの銃撃の報道を、きわめて鮮明に覚えている」
- ⑥ I've learned to my cost that it's important to save data frequently.
「私はひどい目にあって、頻繁にデータを保存することが大切だということを学んだ」

第十二回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(7)副詞(句・節)と主節の間[切れ目]で/

主節…従位接続詞(関係詞・疑問詞)のついていない、いわゆる「裸のS+V」
のことで、文の骨組みとなるS+Vのこと。

尙逆に従位接続詞(関係詞・疑問詞)のついたS+Vのことは「従位
(属)節」という。

① As a result, // information / from an American satellite / was used.

「その結果」 S「情報が」 「アメリカの衛星からの(情報が)」 V「使われた」

② To tell the truth, // I am married.

「実を言うと」 「ボクは結婚しているんだ」

③ When I was a boy, // I was happy.

「子供の頃」 「私は幸せだった」

④ Except for the parts / featuring the politician //, the video was painfully dull.

「その部分を除けば」 「その政治家が大きく映っている」 「そのビデオはおそろしく退屈だった」

【語句】 feature: ~を大きく取り上げる[扱う]

painfully: 痛々しいほどに

dull: つまらない

(8)カンマ(,)、コロン(:)、セミコロン(;)、ダッシュ(-)で／

- ⑤ He was driving his car in the rain at midnight /

「彼は真夜中に、雨の中を自分の車で運転していた」

, when an old lady ran out in front of his car.

「とそのとき、一人のお年寄りの女性が彼の車の前に飛び出してきた」

☞このように「, when」を「と、その時」と訳すということもある。

- ⑥ Paul ran and ran /, until he came to a small village.

「ポールはどンドン走った」 「そしてついにとある小さな村にたどりついた」

☞このように「, until」を「そしてついに」と訳せることがある。

- ⑦ It was made of an animal's bone /, with some bells attached to it.

「それは動物の骨でできていた」

「そしていくつかの鈴がそれには取り付けられてあった」

- ⑧ Jack was elected captain of the team /; he had vigorous leadership.

「ジャックはチームのキャプテンに選ばれた」

「なぜなら彼には強い統率力があつたからだ」

- ⑨ He has been to many countries / : Korea, China, Thailand and so on.

「彼は多くの国に行ったことがある」

「すなわち韓国、中国、タイなどだ」

【全文&全訳】

- ① As a result, information from an American satellite was used.
「その結果、アメリカの衛星からの情報が使われた」
- ② To tell the truth, I am married.
「実を言うと、ボクは結婚しているんだ」
- ③ When I was a boy, I was happy.
「子供の頃、私は幸せだった」
- ④ Except for the parts featuring the politician, the video was painfully dull.
「その政治家が大きく映っている部分を除けば、そのビデオはおそろしく退屈だった」
- ⑤ He was driving his car in the rain at midnight, when an old lady ran out in front of his car.
「彼は真夜中に、雨の中を自分の車で運転していた。とそのとき、一人のお年寄りの女性が彼の車の前に飛び出してきた」
- ⑥ Paul ran and ran /, until he came to a small village.
「ポールはどんどん走った。そしてついにとある小さな村にたどりついた」
- ⑦ It was made of an animal's bone /, with some bells attached to it.
「それは動物の骨でできていた。そしていくつかの鈴がそれには取り付けられてあった」
- ⑧ Jack was elected captain of the team /; he had vigorous leadership.
「ジャックはチームのキャプテンに選ばれた。なぜなら彼には強い統率力があつたからだ」
- ⑨ He has been to many countries / : Korea, China, Thailand and so on.
「彼は多くの国に行ったことがある。すなわち韓国、中国、タイなどだ」

第十三回

2.文中のどこでスラッシュ(/) を引けばいいのか。

(9)文頭の疑問詞(句)の後ろで /

① Whose pen / is this?

「誰のペンなのだろう」「これは」

② Whose umbrella / did I take?

「誰の傘なのだろう」「ボクが持ってきたのは」

③ To what kind of group / can the word 'ethnic' be applied?

「どんな種類の集団に対してなのだろう」「ethnicという言葉があてはまるのは」

④ Under what circumstances / does ethnocentrism become powerful?

「どんな状況の元においてなのだろう」「自民族中心主義が強まるのは」

⑤ To what degree / will he cooperate?

「どの程度までなんだろう」「彼が協力してくれるのは」

【全文&全訳】

① Whose pen is this?

「これは誰のペンなのだろう」

② Whose umbrella did I take?

「ボクが持ってきたのは誰の傘なのだろう」

③ To what kind of group can the word 'ethnic' be applied?

「ethnicという言葉があてはまるのはどんな種類の集団に対してなのだろう」

④ Under what circumstances does ethnocentrism become powerful?

「自民族中心主義が強まるのはどんな状況の元においてなのだろう」

⑤ To what degree will he cooperate?

「彼が協力してくれるのはどの程度までなんだろう」

第十四回

3.スラッシュで区切る場合の注意点。

- (1)上記の区切り方は、あくまでも一つの目安であり、(分かりきっているような文構造まで)あまり杓子定規(しゃくしじょうぎ)に細かく区切り過ぎない方がいい。

I was able to walk along the beautiful street with my girlfriend.

⇒ I was able / to walk / along the beautiful street / with my girlfriend.

最終的には、どこで区切るかは自分の読解力のレベルによって人それぞれ変わってくる。

- (2)ただ区切るのではなく、区切りながら次の展開に対する疑問意識(「何が(を)」「なぜ」「どんなふうに」「誰が(を)」「いつ」「どこで」など)をもって読み進める気持ちが大切。

① I thought / that I should do that alone.

「ボクはthat以下のことを思った」 「自分が一人でそれをすべきだと(思った)」

①何を？

② He likes women / who are kind to old people.

「彼はwho以下のような女性が好きです」 「お年寄りに親切な(女性が)」

②どんな？

第十五回

4. 英文同士の結びつき方も、考えて読むようにしよう。(1)

(1) 英文同士の結びつき方は、基本的に3種類しかない。

$$S+V\sim. \left\{ \begin{array}{l} \textcircled{1}\text{イコール} \\ \textcircled{2}\text{逆} \\ \textcircled{3}\text{因果} \end{array} \right\} S+V\sim. \left\{ \begin{array}{l} \textcircled{1}\text{イコール} \\ \textcircled{2}\text{逆} \\ \textcircled{3}\text{因果} \end{array} \right\} S+V\sim.$$

(2) 英文同士の結びつき方を意識して、「つなぎ語」を補いながら読む。

①連続する両文が(内容的に)「イコール」の関係になっている。
具体的には以下の三種類。

1. 後続の英文が、前文の「具体例・裏付け」となっている。

☞ その場合、「例えば」「実際」などの日本語を間に補ってやる。

2. 後続の英文が、前文の「言い換え・説明」となっている。

☞ その場合、「すなわち」「つまり」などの日本語を間に補ってやる。

3. 後続の英文が、前文の「付け加え」となっている。

☞ その場合、「おまけに」「更に加えて」などの日本語を間に補ってやる。

②連続する両文が(内容的に)「逆(又は対照的)」の関係になっている。

☞ その場合、「しかしながら」「その一方」「対照的に」「それどころか」などの日本語を間に補ってやる。

③連続する両文が(内容的に)「因果」の関係になっている。

1.前文が「原因」、後続の文が「結果」となっている。

☞その場合、「それゆえ」「そこで」などの日本語を間に補ってやる。

2.前文が「結果」、後続の文が「原因」となっている。

☞その場合、「というのは～だからだ」などの日本語を間に補ってやる。

3.その他。

☞前文が「問題提起・疑問」、後続の文が「その解答」といったような場合は、論理関係が明白なので特につなぎ語を補う必要はない。

特に英文と英文が論理マーカ―(「接続詞」「論理接続の副詞 (however, therefore...)」など)なしで直接連続しているような場合、上記のいずれかの「つなぎ語」を間に補いながら読んでいくようにするといい。

第十六回

4. 英文同士の結びつき方も、考えて読むようにしよう。(2)

Q. 以下を、それぞれの英文同士の間になつなげ語を補って和訳せよ。

1. Conversation requires you to exhibit a considerable trust in others. Life would be extremely difficult, even impossible, without such trust.

【語句】 require A to do[原形]～:Aが～することを要求する
exhibit:～を示す
considerable:かなりの

trust:信頼
extremely:非常に

【解答&解説1.】

Conversation requires you / to exhibit a considerable trust / in others.

Life would be extremely difficult /, even impossible /, without such trust.

「会話は他人をかなり信頼していることを示す必要がある。というのはもしそのような信頼がなければ、生活(していくの)は非常に困難、ことによると不可能にさえなるだろうからだ」

【解説】 第一文と第二文の間に「結果 ⇨ 原因[理由]」の論理関係が成立している点に着目して「というのは～だからだ」というつなぎ語を補ってやるといい。

2. English is much more regular in spelling than the traditional criticisms would have us believe. A major American study, published in the early 1970's, carried out a computer analysis of 17,000 words and showed that as many as 84 percent of the words were spelled according to a regular pattern.

【語句】 English:英語 regular:規則的な spelling:つづり traditional:伝統的な、従来の
criticism:批判 study:研究 publish:～を発表する carry out A:Aを行う
analysis:分析 spell:(語を)つづる according to A:Aに従って

【解答&解説2.】

English is much more regular / in spelling /
than the traditional criticisms would have us believe.
A major American study /, published in the early 1970's /,
carried out a computer analysis / of 17,000 words / and showed /
that as many as 84 percent / of the words / were spelled / according to a regular pattern.

「英語は、従来の批判のおかげで私達が信じ込んでいたよりも、はるかにその綴りが規則的なのである。たとえば(実際)1970年代初頭に発表されたアメリカのある主要な研究は17,000語のコンピュータによる分析を行い、その単語の実に84%もが規則的なパターンに従っていることを示した」

【解説】第二文は、第一文の具体例「裏付け」となっているので、「例えば」「実際」といったつなぎ語を補ってやるといい。実際、英文中に以下のような語(句・文)が現れたら、大半は直前の内容の具体例「理由・裏付け」と見ていい。

1.固有名詞

2.数詞

3.(直前の内容とは一見)無関係に見える内容。つまり突然の関係ない話。

本問では、第二文の中の数詞に着目して両者の論理関係を類推することができた。

第十七回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(1) パート1.

I was walking / on the side road / toward Route 300 /

「私は歩いていました」 「脇道を(歩いていました)」 「300号線に向かって」

- coming to the intersection. I noticed / that they had put up signals /

「そして交差点のところまでやってきました」 「私は気づきました」 「信号が設置されているのに(気づきました)」

near the service station. This should help / make the intersection safer.

「ガソリンスタンドの近くに(設置されている)」 「これは役立つはずですが」 「交差点をより安全にするのに(役立つはずですが)」

Suddenly, // a van came up / from behind me. It was strange /

「突然」 「一台のバンが現れました」 「私の後ろから(現れました)」 「そのバンは奇妙でした」

- I could see / inside the van / and it was full of soccer balls!

「というのも私は見えたのですが」 「バンの中を」 「そのバンはサッカーボールで一杯だったのです」

第十八回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(1) パート2.

I had never seen anything like that before.

「そのようなものをそれまで見たことはありませんでした」

Anyway, / as the van was approaching the signal, // the light turned /

「いずれにせよ」 「バンが信号に近づいてきたとき」

「信号が変わりました」

from green to yellow.

「青から黄色に(変わりました)」

But the driver went faster / when he should have slowed down /

「でも運転手はスピードを増したのです」 「スピードを落とすべきだったのに」

- he drove into the intersection / where he almost hit a sports car.

「彼は交差点に入っていました」

「そしてそこでもう少しでスポーツカーとぶつかりそうになったのです」

第十九回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(1) パート3.

It was so lucky / - the man was able to turn to the right /

「幸運でした」 「その男性は右に向きを変えることができました」

and miss the car. I think / the sports car turned too.

「そしてよけることができました」 「私は思います」 「スポーツカーの方も向きを変えたのだと思います」

Fortunately, // there was no accident, / but there were soccer balls /

「幸運にも」 「事故はありませんでした」 「でもサッカーボールがありました」

all over the place.

「あたり一面に(散乱した)」

次に、スラッシュで区切っただけの英文を読んで、同じように訳せるかどうか確認してみよう。

I was walking / on the side road / toward Route 300 /

- coming to the intersection. I noticed / that they had put up signals /

near the service station. This should help / make the intersection safer.

Suddenly, // a van came up / from behind me. It was strange /

- I could see / inside the van / and it was full of soccer balls!

I had never seen anything like that before.

Anyway, / as the van was approaching the signal, // the light turned /

from green to yellow.

But the driver went faster / when he should have slowed down /

- he drove into the intersection / where he almost hit a sports car.

It was so lucky / - the man was able to turn to the right /

and miss the car. I think / the sports car turned too.

Fortunately, // there was no accident, / but there were soccer balls /

all over the place.

最後に、今度は自分でスラッシュを引きながらそのままの英文を読んでみよう。
先程の注意点さえ気をつければ、テキストと全く同じ線の引き方でなくてもかまわない。

I was walking on the side road toward Route 300 - coming to the intersection.

I noticed that they had put up signals near the service station. This
should help make the intersection safer. Suddenly, a van came up from
behind me. It was strange - I could see inside the van and it was full of
soccer balls!

I had never seen anything like that before.

Anyway, as the van was approaching the signal, the light turned from green
to yellow. But the driver went faster when he should have slowed down - he
drove into the intersection where he almost hit a sports car. It was so
lucky - the man was able to turn to the right and miss the car. I think
the sports car turned too. Fortunately, there was no accident, but there
were soccer balls all over the place.

【全訳】

私は脇道を300号線に向かって歩いていました。そして交差点にさしかかろうとしていました。ガソリンスタンドの近くに信号が設置されたのに気づきました。これは交差点が以前より安全になるのに役立つはずです。突然、私の背後からバンが現れました。

それは変でしたーバンの中が見えましたが、サッカーボールで一杯だったのです! そのようなものはそれまで見たことはありませんでした。いずれにしても、バンが信号に近づいた時、信号が青から黄色に変わりました。しかしドライバーはスピードを落とすべきだったのに加速したのですー彼は交差点に進入して、そこでスポーツカーともう少しでぶつかりかけたのです。とても幸運でした。ーその男性は右に向きを変え、スポーツカーをよけることができたのです。スポーツカーも向きを変えたと思います。幸運にも事故にはなりませんでしたが、あたり一面サッカーボールが散乱していました。

第二十回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(2) パート1.

(1)

When is a person old? There are many individuals / who still seem 'young' /

「いつ人は老いるのだろうか」 「多くの個人がいる」 「依然として若々しい(多くの個人がいる)」

at seventy or more / , while others appear 'old' / in their fifties.

「70歳あるいはそれ以上(も)」 「その一方年老いて見える人もいる」 「50代で」

From another point of view // , sumo wrestlers, for instance, are 'old' /

「別の観点から見れば」 「例えば相撲取りは年寄りである」

in their thirties / , whereas artists' best years may come / in their sixties / or even later.

「30代で」 「その一方、芸術家の最高潮期はやってくるかもしれない」 「60代に」 「あるいはもっと遅く(に)」

第二十一回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(2) パート2.

But in general // , people are old /

「しかし一般的に」 「人は老いる(年寄りになる)」

when society considers them to be old / , that is/ , when they retire from work /

「社会が彼らを老いた(年寄りだ)とみなした時に」 「つまり」 「彼らが仕事を引退した時に」

at around the age of sixty or sixty-five.

「60歳か65歳頃で(引退した時に)」

Nowadays / , however // , the demand for new work skills /

「今日では」 「しかしながら」 ㊟「新しい仕事技能に対する要求が」

is making more and more individuals old / before their time.

㊿「ますます多くの人々を老いさせてしまっている」 「退職前に」

第二十二回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(2) パート3.

Although older workers tend to be dependable / , and have much to offer /

「年配の労働者は頼りがいがあるのだけれど」

「そして(人に)与えるべきものをたくさん持っているのだけれど」

from their many years of experience //, they are put at a disadvantage /

「長年の経験から(与えるべきものを)」

「彼らは不利な立場に置かれてしまっている」

by rapid developments / in technology.

「急速な発展によって」

「科学技術の(急速な発展によって)」

Older people usually find it more difficult / to acquire the new skills /

「年配の人々はたいてい難しいと思うものだ」

「新しい技能を身に付けるのは(難しいと思うものだ)」

required by technological changes / , and they do not enjoy /

「科学技術の変化によって必要となる(新しい技能)」

「そして持っていないのである」

the same educational opportunities / as young workers.

「同じ教育の機会を」

「若い労働者と(同じ教育の機会を)」

第二十三回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(2) パート4.

When they finally leave work and retire //, people face further problems.

「ついに仕事を離れ退職する時」

「人々は更なる問題に直面する」

The majority receive little or no assistance /

「その大多数はほとんど、あるいは全く支援を受けないのである」

in adjusting to their new situation / in the community.

「新しい状況に適応する際における(支援を)」

「地域社会の中で」

Moreover, / since society at present / appears to have no clear picture /

「おまけに」

「今日の社会は」

「明確なイメージを持っていないように見えるので」

of what place its older members should occupy //, it is unable to offer them /

「その社会の年配の構成員がどのような位置を占めるべきかについての(明確なイメージ)」

「彼らに提供できていないのである」

enough opportunities / to have satisfying social roles / after they retire.

「十分な機会を(提供できていない)」

「満足のいく社会的役割を持つための(十分な機会)」

「退職後に」

第二十四回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(2) パート5.

In the past //, the old used to be looked upon as experts /

「過去においては」 「お年寄りは専門家とみなされていたものだった」

in solving various problems of life.

「様々な人生の問題を解決する(専門家)」

Today /, however //, they are no longer regarded as such /

「今日では」 「しかしながら」 「彼らはもはやそのようなものとしてみなされていない」

☞ as suchで「そのようなものとして」。

and are seldom expected / to play significant roles /

「そして滅多に期待されないのだ」 「重要な役割を果たすとは(滅多に期待されない)」

in social, economic and community affairs.

「社会的経済的な問題や、地域社会の問題において」

第二十五回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(2) パート6.

With the number of older people / in the population / rapidly increasing // ,
「高齢者の数と共に」 「人口の中の(高齢者)」 「急速に増加している(高齢者の数)」

we need greatly to increase and improve the opportunities /
「我々は大いに機会を増やしそして改善する必要がある」

provided for them / so that they can participate in society /
「彼らに提供される(機会)」 「彼らが社会に参画できるよう」

with dignity and respect.
「威厳と尊敬の念と共に(社会に参画する)」

(2)

人々

When is a person old? There are many individuals / who still seem 'young' /

~のように見える

at seventy or more / , while others appear 'old' / in their fifties.

観点

From another point of view // , sumo wrestlers, for instance, are 'old' /

その一方

in their thirties / , whereas artists' best years may come / in their sixties /

一般的に

or even later. But in general // , people are old /

つまり

when society considers them to be old / ,that is / , when they retire from work /

at around the age of sixty or sixty-five.

要求

技能

Nowadays / , however // ,the demand for new work skills /

is making more and more individuals old / before their time.

頼りがいがある

Although older workers tend to be dependable / , and have much to offer /

不利な立場

from their many years of experience // , they are put at a disadvantage /

急速な

発達

by rapid developments / in technology.

~を身につける

Older people usually find it more difficult / to acquire the new skills /

~を持つ

required by technological changes / , and they do not enjoy /

教育の

機会

the same educational opportunities / as young workers.

更なる

When they finally leave work and retire // , people face further problems.

The majority receive little or no assistance /

～に適応する

in adjusting to their new situation / in the community.

現在の

イメージ

Moreover, / since society at present / appears to have no clear picture /

～を占める

of what place its older members should occupy //, it is unable to offer them /

満足のいく

役割

enough opportunities / to have satisfying social roles / after they retire.

過去

みなされる

In the past //, the old used to be looked upon as experts /

様々な

in solving various problems of life.

もはや～ない みなされる そのようなものとして

Today /, however //, they are no longer regarded as such /

滅多に～ない

重要な

and are seldom expected / to play significant roles /

問題

in social, economic and community affairs.

急速に

With the number of older people / in the population / rapidly increasing // ,

～を改善する

we need greatly to increase and improve the opportunities /

～に提供される

～に参加する

provided for them / so that they can participate in society /

尊厳

尊敬の念

with dignity and respect.

(3)

When is a person old? There are many individuals who still seem 'young' at seventy or more, while others appear 'old' in their fifties.

From another point of view, sumo wrestlers, for instance, are 'old' in their thirties, whereas artists' best years may come in their sixties or even later.

But in general, people are old when society considers them to be old, that is, when they retire from work at around the age of sixty or sixty-five.

Nowadays, however, the demand for new work skills is making more and more individuals old before their time. Although older workers tend to be dependable, and have much to offer from their many years of experience, they are put at a disadvantage by rapid developments in technology. Older people usually find it more difficult to acquire the new skills required by technological changes, and they do not enjoy the same educational opportunities as young workers.

When they finally leave work and retire, people face further problems.

The majority receive little or no assistance in adjusting to their new situation in the community. Moreover, since society at present appears to have no clear picture of what place its older members should occupy, it is unable to offer them

enough opportunities to have satisfying social roles after they retire.

In the past, the old used to be looked upon as experts in solving various problems of life. Today, however, they are no longer regarded as such and are seldom expected to play significant roles in social, economic and community affairs. With the number of older people in the population rapidly increasing, we need greatly to increase and improve the opportunities provided for them so that they can participate in society with dignity and respect.

(センター試験)

【全訳】

人はいつ老いるのだろうか。70かそれ以上でも、まだ「若く」見える人も多くいるが、その一方、50代でも「年寄り」に見える人もいる。別の観点から言うと、例えば相撲取りは30代で「年寄り」であるが、芸術家の最高潮期は、60代かそれ以降に到来するかもしれない。しかし一般的に、人は社会がその人を年寄りと考えるとき、つまり、60歳か65歳あたりで退職するときに年寄りとなる。

しかし、今日では新しい仕事技術に対する要求があるために、人々はますます、退職前に老いてしまっている。年輩の労働者は頼りがいがあり、長年にわたる経験から、人に与えるものをたくさん持っているけれども、科学技術の急速な発展のために不利な立場に置かれている。年輩の人々は普通、科学技術の変化が要求する新しい技術を身につけるのをより困難であると思うし、若い労働者と同じ教育を受ける機会を持たないのである。

ついに仕事を離れて退職する時に、人々は更に大きな問題に直面する。その大多数は地域社会の中で自分の置かれた新しい状況に適応するのにほとんど、あるいは全く援助を受けない。更に、現在の社会はその社会の年輩の構成員がどのような位置を占めるべきかについてのはっきりとしたイメージを持ち合わせていないので、退職後に満足いく社会的役割を持つのに十分な機会を、彼らに与えることができないのである。

過去には、老人は人生の様々な問題を解決する専門家と見なされたものであった。しかし今日では、彼らはもはやそのようには見なされず、社会的、経済的な問題や地域社会の問題で重要な役割を果たすように期待されることはめったにない。人口の中での年輩者の数が急速に増加しているので、彼らが堂々とまた周囲から尊敬されて社会に参加できるよう、彼らに与えられる機会を増やし、また改善する必要がある大いにある。

第二十六回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(3) パート1.

(1)

Nowadays // people spend more time / away from their jobs / than ever before.

「今日では」 「人々はより多くの時間を使っている」 「自分の仕事から離れた(より多くの時間)」 「かつてないほどに」

Technological developments / have steadily shortened working hours /

「科学技術の発展(達)は」 「着実に労働時間を短縮した」

for a large part of the population / , and the fact / that people are living longer/

「大多数の人々にとっての(労働時間)」 「そしてthat以下という事実は」 「人々が長生きするようになっている(という事実)」

has also increased the amount of time / spent in non-work settings.

「また時間を増加させた」 「働いていない環境の中で使われる(時間)」

第二十七回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(3) パート2.

As a result, // a large number of people / have had to adjust to more leisure /
「その結果として」 「多くの人々は」 「より多くの余暇に適應せねばならなくなっている」

than they had expected /, and this new-found leisure / has created difficulties.
「予想した以上の(多くの余暇)」 「そしてこの新たに見いだされた余暇が」 「様々な問題を引き起こしてきたのである」

Historically //, the emphasis has been on work /,
「歴史的には」 「重点が仕事に置かれてきた」

and current attitudes still reflect / the impact of this earlier way of thinking.
「そして最近の考え方も依然として反映している」 「この従来の考え方の影響(を反映している)」

Even today //, many people still believe / that leisure should be used chiefly /
「今日でさえ」 「多くの人々は依然that以下のことを信じている」 「余暇は主に使われるべきである(と信じている)」

to restore one's energy and strength / for more and better work.
「活力と体力を回復するために(使われるべきである)」 「より多くのそしてより良い仕事のために(回復する)」

第二十八回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(3) パート3.

Leisure, therefore, has been viewed / as a means to an end.

「余暇はそれ故、これまで見なされてきた」

「目的のための手段として(見なされてきた)」

Along with greater production efficiency and higher standards of living //,

「生産効率の増大と生活水準の向上と共に」

there is a new idea / in which / leisure is viewed /

「新たな考えが出てきている」 「そしてその(考えの)中では」 「余暇が見なされている」

as more than simply a restorative / for work.

「単なる回復手段以上のものであると(見なされている)」 「仕事のための(回復手段)」

Leisure is now regarded / by an increasing number of people /

「余暇は今では見なされている」 「ますます多くの人々によって」

as an important part of contemporary life.

「現代生活の重要な一部であると(見なされている)」

第二十九回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(3) パート4.

They think / that the use of leisure time /

「彼らはthat以下のように考えている」 「余暇の時間を使うことは」

🔍 in itselfで「それ自体」。

should be a satisfying experience / in and of itself.

of itselfで「本来、自然と」。

「やりがいのある経験であるべきだと(考えている)」 「それ自体、そして本質的に(やりがいのある経験)」

Attitudes toward both leisure and work / are changing.

「余暇と仕事に対する考え方は」 「変化しつつある」

Increasing mechanization of work has meant /

「仕事の機械化の増大はthat以下のことを意味するようになった」

that more people are now looking beyond their jobs /

「より多くの人々が今で自分の仕事以外を見ている」

🔍 look for A で「Aを探す」というイディオムに beyond their jobs が

for satisfying life experiences.

挿入されたと見てもいい。beyondは「～を越えて」から転じて「～以外に」と

「満足のいく人生経験を求めて」

訳すといい。

第三十回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(3) パート5.

This has led to some change / in emphasis /

「このことがある変化をもたらしている」 「重点における(変化)」

from job-centered activities / to leisure and home-centered activities /,

「仕事中心の活動から」 「余暇と家庭中心の活動への(重点の変化)」

especially among the younger generation.

「特に若い世代の間で(もたらしている)」

However /, because the new idea has not entirely replaced / the traditional one //,

「しかしながら」 「そのような新しい考え方が完全に取って代わったというわけではないので」 「従来の考え方に(取って代わった)」

many people face the problem / of what role leisure should play in their lives.

「多くの人々はof以下という問題に直面している」 「余暇がどのような役割を生活の中で果たすべきか(という問題)」

第三十一回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(3) パート6.

Some feel guilty / about additional hours of free time / and seek more work /

「良心の呵責を感じる人もいる」 「自由時間が増えたことに対して(良心の呵責を感じる)」 「そしてより多くの仕事を求める(人もいる)」

to avoid leisure hours /, while others eagerly pursue leisure activities /

「余暇時間を避けるために」 「その一方、that以下のような余暇活動を熱心に追い求める人もいる」

that resemble work. As working hours are shortened //,

「仕事と似たような(余暇活動)」 「労働時間が短くなるにつれて」

a more meaningful balance has to be found / between work and play.

「より有意義なバランスが見いだされなければならない」 「仕事と遊びの間に(見いだされなければならない)」

(2) 過ごす ～から離れて かつてないほどに
Nowadays // people spend more time / away from their jobs / than ever before.

着実に ～を短くする
Technological developments / have steadily shortened working hours /
for a large part of the population /, and the fact / that people are living longer/
量 働いていない環境 その結果として
has also increased the amount of time / spent in non-work settings. As a result, //
～に適応する
a large number of people / have had to adjust to more leisure /
than they had expected /, and this new-found leisure has created difficulties.

重点
Historically //, the emphasis has been on work /,
現在の 考え方 ～に影響を与える 影響
and current attitudes still reflect / the impact of this earlier way of thinking.

主に
Even today //, many people still believe / that leisure should be used chiefly /
～を回復する 体力
to restore one's energy and strength / for more and better work.

それ故 手段 目的
Leisure, therefore, has been viewed / as a means to an end.

～と共に 効率 生活水準
Along with greater production efficiency and higher standards of living //,
there is a new idea / in which leisure is viewed /

回復手段
as more than simply a restorative for work. Leisure is now regarded /

益々多くの 現代の
by an increasing number of people / as an important part of contemporary life.

やりがいのある
They think / that the use of leisure time / should be a satisfying experience /

それ自体本質的に

in and of itself.

考え方

Attitudes toward both leisure and work / are changing.

機械化

意味する

Increasing mechanization of work has meant / that more people are now looking /

beyond their jobs / for satisfying life experiences.

~をもたらす

重点

This has led to some change / in emphasis /

仕事中心の

from job-centered activities to leisure and home-centered activities /,

特に

世代

especially among the younger generation.

完全に~というわけではない 取って代わる

従来の

However /, because the new idea has not entirely replaced / the traditional one //,

~に直面する

many people face the problem / of what role leisure should play in their lives.

やましい

~を求める

Some feel guilty / about additional hours of free time / and seek more work /

避ける

その一方

熱心に

~を追究する

to avoid leisure hours /, while others eagerly pursue leisure activities /

~に似ている

that resemble work. As working hours are shortened //,

意味のある

a more meaningful balance has to be found / between work and play.

(3)

Nowadays people spend more time away from their jobs than ever before.

Technological developments have steadily shortened working hours for a large part of the population, and the fact that people are living longer has also increased the amount of time spent in non-work settings. As a result, a large number of people have had to adjust to more leisure than they had expected, and this new-found leisure has created difficulties.

Historically, the emphasis has been on work, and current attitudes still reflect the impact of this earlier way of thinking. Even today, many people still believe that leisure should be used chiefly to restore one's energy and strength for more and better work. Leisure, therefore, has been viewed as a means to an end.

Along with greater production efficiency and higher standards of living, there is a new idea in which leisure is viewed as more than simply a restorative for work. Leisure is now regarded by an increasing number of people as an important part of contemporary life. They think that the use of leisure time should be a satisfying experience in and of itself.

Attitudes toward both leisure and work are changing. Increasing mechanization

of work has meant that more people are now looking beyond their jobs for satisfying life experiences. This has led to some change in emphasis from job-centered activities to leisure and home-centered activities, especially among the younger generation. However, because the new idea has not entirely replaced the traditional one, many people face the problem of what role leisure should play in their lives. Some feel guilty about additional hours of free time and seek more work to avoid leisure hours, while others eagerly pursue leisure activities that resemble work. As working hours are shortened, a more meaningful balance has to be found between work and play.

(センター試験)

【全訳】

現在では、人々は以前よりも長時間仕事から離れた時間を過ごしている。科学技術の進歩のおかげで、着実に多数の人々の労働時間は短縮され、そして人々の寿命が延びたという事実によって、働いていない環境の中で使われる時間も増加するに至った。その結果、多くの人々は予想以上にたくさんの余暇に適応せねばならなくなったのである。そして、この新しく見出された余暇が様々な問題を引き起こしてきたのである。

歴史的には、仕事に重点が置かれてきたので、最近の態度にもまだこの従来の考え方の影響が反映している。今日でもまだ多くの人々は、余暇は、主としてより多く、のそしてよりよい仕事をこなすための活力と体力を回復するために使われるべきだと信じている。つまり、余暇は目的のための手段とみなされてきたのである。

生産効率の増大と生活水準の上昇とともに、余暇が仕事のための単なる回復手段以上のものとみなされる新しい考えがでてきた。余暇は、今ではますます多くの人々に、現代生活の重要な一部分とみなされている。これらの人々は、余暇の時間を使うことは、本質的にそして自然に、やりがいのある経験であるべきだと考えている。

余暇と仕事に対する態度は変化している。仕事の機械化の増大は、より多くの人々が仕事の他に自分で満足のいく人生経験を求めているということの意味するようになった。その結果、仕事中心の活動から、余暇と家庭中心の活動への重点の変化が、特に若い世代の間で起こった。しかしこの新しい考えは、従来の考えに完全に取って代わったわけではないから、多くの人々が余暇が人生の中で、どのような役割を果たすべきかという問題にぶつかっている。自由時間の増加について気に病んで余暇時間を避けるためによりたくさんの仕事を求める人もいれば、仕事と似通った余暇活動を熱心に追い求める人もいる。労働時間が短縮されるにつれて、仕事と遊びの間に、いっそう有意義な均衡が見出されねばならないのである。

第三十二回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート1.

(1)

It is hard to imagine / how human social life could exist /

「想像するのは難しいことだ」 「どうやって人間の社会生活が存在しうるか(想像するのは)」

without some kind of language. The emergence of language /,

「何らかの種類の言語なしに(存在しうる)」 「言語の出現は」㊟

some time long ago / in the prehistory of our species /, made possible /

「遠い昔の」 「人類の先史時代における(遠い昔の)」 「可能にした」㊷

the kind of social existence / which we take for granted.

「社会のあり方(を可能にした)」 「しかしそれ(そのような社会のあり方)を我々は当たり前のことだと思ってるのだが」

第三十三回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート2.

It gave us a crucial evolutionary advantage / over other animals /,

「言語は我々に重要な進化の上での利点を与えてくれた」

「他の動物たちに勝る(利点を)」

partly because it became possible / for us to share information /

「その理由の一つは、それが可能になったからだ」

「我々が情報を共有すること(が可能になったからだ)」

with a new clarity and explicitness /, within and across generations.

「新たに明瞭で系統立った(情報)」

「世代間、および世代を越えて(共有する)」

Through the evolution of language //,

「言語の進化を通して」

we also became capable / of thinking / constructively and analytically together.

「我々はまたできるようになった」

「考えることが(できるようになった)」

「建設的、かつ分析的に(考えることが)」

第三十四回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート3.

Other relatively intelligent species / such as chimpanzees and dolphins /

「他の比較的知能の高い種は」

「たとえばチンパンジーやイルカのような(種は)」

have never developed comparable ways / of sharing their mental resources /,

「(言語に)匹敵するような方法を発達させなかった」

「自分達の頭の中の資源[情報]を共有するような(言語に匹敵する方法)」

with the result / that each individual animal can only learn / from others /

「その結果として」

「それぞれの動物たちは学ぶことしかできない」

「他者から(学ぶ)」

by observation, imitation and taking part in joint activity / ;

「観察や模倣や共同活動に参加することによって(他者から学ぶ)」

and most of the knowledge / each chimpanzee or dolphin accumulates over a lifetime/

「そしてその知識の大半は」

「それぞれのチンパンジーやイルカが一生を通して蓄えた(知識の大半は)」

is lost / when they die.

「失われてしまうのだ」 「彼らが死んだ時に」

第三十五回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート4.

Language is a unique evolutionary invention. Some animals /, like honey-bees /,
「言語は他に類のない進化上の発明である」 「いくつかの動物たちは」 「ミツバチのような」

have reliable ways / of sharing useful information /, using sign systems /
「信頼できる手段を持っている」 「役立つ情報を共有するための(信頼できる手段)」 「そしてそれはthat以下のような身振りのシステムである」

that have been evolutionarily designed / and genetically programmed /
「(そしてそれは)進化の途上で設計され」 「そして遺伝的にプログラムされた(身振りのシステム)」

for a single, focused purpose.
「たった一つの限られた目的のために(設計されプログラムされた)」

第三十六回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート5.

But language is a completely different kind of communication system /

「しかし言語は全く異なる種類のコミュニケーションシステムである」

because it is flexible, innovative and adaptable / to the demands /

「なぜなら、言語は柔軟で、創造的で、対応できる[融通が利く]からだ」 「(様々な)要求に」

of ongoing circumstances. It enables people /

「進行中の状況(要求に)」 「言語は我々ができるようにしてくれる」

to create, share and consider new ideas /

「新しい考えを生み出し、共有し、そしてそれについて検討する(ことができるようにしてくれる)」

and to reflect together on their actions.

「そして自分達の行動を一緒に考える(ことができるようにしてくれる)」

第三十七回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート6.

Words mean / what humans agree together / to make them mean /,
「単語はwhat以下のことを意味する」 「人間が共に合意した」 「それらが意味するように」

new words can be created / as required /, and they can be combined /
「新しい単語が生み出されることが可能だ」 「必要に応じて」 「そしてそれらは組み合わせられることが可能だ」

to make an infinite variety of meanings.
「無限の(種類の)意味を作り出すように(組み合わせられる)」

Language enables us / to share thoughts / about new experiences /
「言語は我々ができるようにしてくれる」 「考えを共有することを」 「新たな経験についての(考えを共有することを)」
⇒ 「言語のおかげで、結果として我々は新たな経験についての考えを共有することができる」

and organize life together /, which no other species can.
「そして共に人生を組み立てることができる(ようにしてくれる)」 「しかしこれは他の種にはできないことなのである」
⇒ 「そして言語のおかげで、結果として我々は共に人生を組み立てることができる」

第三十八回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート7.

Language has not been designed / as a means to use /

「言語は設計されているわけではない」

「用いるための手段として」

in a precise, unchanged form / from one individual brain to another.

「正確に不変の形で(用いる)」

「ある個人の脳から別の個人の脳へと(正確に不変の形で用いる)」

Of course //, humans use language /

「もちろん」

「人間は言語を使う」

to share and exchange information / quite effectively /, on the whole.

「情報を共有し交換する(やりとりする)ために」

「きわめて効果的に」

「全体として」

Yet / on a practical, everyday level //, we all know /

「しかし」 「実際のな、日常的なレベルでは」

「私達は皆知っている」

that we do not reliably make people understand exactly / what we mean.

「私達は100%正確に人々に理解してもらえないとは限らない(ということを知っている)」

「自分の意味することを「言わんとすること」を」

第三十九回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート8.

As Guy Browning /, a journalist commentator on the world of work /, points out /:

「ガイ・ブラウニング氏が」 「(彼は)仕事の世界に関するジャーナリスト解説者である」 「こう指摘している(のだが)」

A school of a million fish might not be able to write Romeo and Juliet /

「100万匹の魚群は、『ロミオとジュリエット』を書くことはできないかもしれない」

between them /, but they can change direction / as one / in the blink of an eye.

「自分達の間で」 「しかし彼らは向きを変えることができる」 「そろって」 「瞬時に(向きを変える)」

Using language //, a human team leader can give an instruction/ to a team of six /

「言語を使った場合」 「人間のチームリーダーは、一つの指示を出して」 「6人からなるチームに」

and have it interpreted / in six completely different ways.

「そしてそれ[その指示]が解釈される」 「6通りの全く異なったやり方で(解釈されることがありうる)」

第四十回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート9.

Misunderstandings regularly arise /, despite our best efforts /,

「誤解は常に生じる」

「我々の最善の努力にもかかわらず」

because there is rarely one unambiguous meaning / to be discovered /

「というのは、曖昧でないたった一つの意味などめったにないからだ」

「見つけ出されることのできるような」

in what someone puts into words.

「誰かが言葉にしたことの中に(見つけ出される)」

But variations in interpretation / are not always "misunderstandings."

「しかし、解釈における違いは」

「常に『誤解』であるとは限らない」

When we are dealing with complex, interesting presentations of ideas //,

「我々が複雑で、興味深い方法で提示された考えを扱う場合」

variations in understanding / are quite normal / and sometimes are even welcomed/:

「理解(の仕方)における違いは」

「ごくあたりまえのことである」

「そして時には(それは)歓迎されることさえある」

第四十一回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(4) パート10.

How otherwise could there be new interpretations / of Shakespeare's plays /
「もしそうでなければ、どうして新しい解釈がありえるだろうか」 「シェークスピアの戯曲の(新しい解釈)」

and why else are we interested in them?

「そして(もしそうでなければ)どうしてそうした解釈に我々は興味をもつであろうか」

I expect / that many authors are frequently dismayed /

「私が思うに」 「多くの著者たちはよく困惑する」

to discover / that readers misunderstand their "message," /

「that以下のことがわかって(困惑する)」 「読者が、彼らの『メッセージ』を誤解している(とわかって)」

but they should not necessarily take this / as failure on their part.

「しかし彼らは必ずしもこれを受け止める[みなす]べきではない」 「自分の落ち度であると」

The act of reading any text / relies on the interpretative efforts of a reader /,

「どんな文章であれ、読むという行為は」 「読者の解釈しようという努力にも左右されるものなのだ」

as well as on the communicative efforts and intentions of the author.

「著者のコミュニケーションを図る努力や意図(に左右される)だけでなく」

☞ A as well as Bで「BだけでなくAもまた」。

(2)

存在する

It is hard to imagine / how human social life could exist /

出現

without some kind of language. The emergence of language /,

先史時代

人類

some time long ago / in the prehistory of our species /, made possible /

社会のあり方

~を当然とみなす

the kind of social existence / which we take for granted.

重要な

進化の

利点

~に勝る

It gave us a crucial evolutionary advantage / over other animals /,

一つには~だからだ

partly because it became possible / for us to share information /

明白さ

明瞭さ

with a new clarity and explicitness /, within and across generations.

進化

Through the evolution of language //,

建設的に

分析的に

we also became capable / of thinking / constructively and analytically together.

比較的

例えば

Other relatively intelligent species / such as chimpanzees and dolphins /

比較できうるような

資源

have never developed comparable ways / of sharing their mental resources /,

その結果として

with the result / that each individual animal can only learn / from others /

観察

模倣

~に参加する

共同の

by observation, imitation and taking part in joint activity / ;

~を蓄積する

and most of the knowledge / each chimpanzee or dolphin accumulates over a lifetime/

is lost / when they die.

進化上の

発明

Language is a unique evolutionary invention. Some animals /, like honey-bees /,

信頼できる 身振りの
have reliable ways / of sharing useful information /, using sign systems /
that have been evolutionarily designed / and genetically programmed /
限られた
for a single, focused purpose.

全く
But language is a completely different kind of communication system /
柔軟な 創造的な 融通が利く
because it is flexible, innovative and adaptable / to the demands /
進行中の
of ongoing circumstances. It enables people /
to create, share and consider new ideas /
and to reflect together on their actions.

同意する
Words mean / what humans agree together to make them mean /,
組み合わせられる
new words can be created / as required /, and they can be combined /
無限の 意味
to make an infinite variety of meanings.

Language enables us / to share thoughts about new experiences /
～を組み立てる
and organize life together /, which no other species can.

手段
Language has not been designed / as a means to use /
正確な
in a precise, unchanged form / from one individual brain to another.

Of course //, humans use language /
～を交換する 効率的に 全体として
to share and exchange information / quite effectively /, on the whole.

しかし 実際的な
Yet / on a practical, everyday level //, we all know /
that we do not reliably make people understand exactly / what we mean.
解説者 指摘する
As Guy Browning /, a journalist commentator on the world of work /, points out /:
群れ
A school of a million fish might not be able to write Romeo and Juliet /
between them /, but they can change direction / as one / in the blink of an eye.
方向 そろって 一瞬に
Using language //, a human team leader can give an instruction /
指示
to a team of six / and have it interpreted / in six completely different ways.
解釈される
誤解 常に 生じる ~にも関わらず
Misunderstandings regularly arise /, despite our best efforts /,
あいまいな
because there is rarely one unambiguous meaning / to be discovered /
違い 解釈
in what someone puts into words. But variations in interpretation /
are not always "misunderstandings."
~を扱う 複雑な 提示
When we are dealing with complex, interesting presentations of ideas //,
variations in understanding / are quite normal / and sometimes are even welcomed /:
How otherwise could there be new interpretations / of Shakespeare's plays /,
and why else are we interested in them?
困惑する
I expect / that many authors are frequently dismayed /
to discover / that readers misunderstand their "message," /

受けとめる 落ち度

but they should not necessarily take this / as failure on their part.

～に左右される 解釈しようという努力

The act of reading any text / relies on the interpretative efforts of a reader /,

コミュニケーションをはかる 意図

as well as on the communicative efforts and intentions of the author.

(3)

It is hard to imagine how human social life could exist without some kind of language. The emergence of language, some time long ago in the prehistory of our species, made possible the kind of social existence which we take for granted.

It gave us a crucial evolutionary advantage over other animals, partly because it became possible for us to share information with a new clarity and explicitness, within and across generations. Through the evolution of language, we also became capable of thinking constructively and analytically together.

Other relatively intelligent species such as chimpanzees and dolphins have never developed comparable ways of sharing their mental resources, with the result that each individual animal can only learn from others by observation, imitation and taking part in joint activity; and most of the knowledge each chimpanzee or dolphin accumulates over a lifetime is lost when they die.

Language is a unique evolutionary invention. Some animals, like honey-bees, have reliable ways of sharing useful information, using sign systems that have been evolutionarily designed and genetically programmed for a single, focused purpose.

But language is a completely different kind of communication system because it is flexible, innovative and adaptable to the demands of ongoing circumstances. It enables people to create, share and consider new ideas and to reflect together on their actions.

Words mean what humans agree together to make them mean, new words can be created as required, and they can be combined to make an infinite variety of meanings. Language enables us to share thoughts about new experiences and organize life together, which no other species can.

Language has not been designed as a means to use in a precise, unchanged form from one individual brain to another. Of course, humans use language to share and exchange information quite effectively, on the whole. Yet on a practical, everyday level, we all know that we do not reliably make people understand exactly what we mean. As Guy Browning, a journalist commentator on the world of work, points out:

A school of a million fish might not be able to write Romeo and Juliet between them, but they can change direction as one in the blink of an eye. Using language,

a human team leader can give an instruction to a team of six and have it interpreted in six completely different ways.

Misunderstandings regularly arise, despite our best efforts, because there is rarely one unambiguous meaning to be discovered in what someone puts into words.

But variations in interpretation are not always "misunderstandings." When we are dealing with complex, interesting presentations of ideas, variations in understanding are quite normal and sometimes are even welcomed: How otherwise could there be new interpretations of Shakespeare's plays, and why else are we interested in them?

I expect that many authors are frequently dismayed to discover that readers misunderstand their "message," but they should not necessarily take this as failure on their part. The act of reading any text relies on the interpretative efforts of a reader, as well as on the communicative efforts and intentions of the author.

(青山学院大学)

【全訳】

なんらかの種類言語なしに、人間の社会生活がどう存在し得るか想像するのは難しい。遠い昔の人類の先史時代に言語が生まれたおかげで、我々が当たり前のことだと思ふような社会のあり方が可能となった。

言語は、ほかの動物に比べて非常に重要な進化上の利点を、我々に与えてくれた。それは、一部には、言語のおかげで世代間および世代を越えて、今までにない明瞭かつ系統立った情報を共有できるようになったからである。言語の進化を通じて、我々は建設的かつ分析的に考えることもできるようになった。

チンパンジーやイルカなどほかの比較的知能の高い種は、頭の中に蓄えた情報を共有するための言語に匹敵する方法を発達させなかった。その結果、それぞれの動物にできるのは、観察や、模倣や、共同活動への参加によって他者から学ぶことだけだ。それにそれぞれのチンパンジーやイルカが生涯のうちに蓄えた知識の大半は、それらの死と共に失われてしまうのである。

言語は進化上比類のない発明である。ミツバチなど一部の動物には、有用な情報を共有する信頼できる手段がある。それは、ある限られた¹つの目的のために、進化の途上で設計され遺伝的にプログラムされた身振りのシステムを使って行われる。しかし言語は、融通が利き、革新的で、進行中の状況の要求に腑応することができるので、全く別種のコミュニケーションシステムである。言語のおかげで人間は新しい考えを創造し、共有したり、検討したりできるし、自分たちの行動を一緒に考えることができる。

単語は人間が共に合意した意味を意味し、必要に応じて新語を作り出すことが可能で、それらを組み合わせて無限の意味を作ることができる。言語のおかげで我々は新たな経験についての考えを共有し、共に人生を組み立てることができるが、これはほかの種にはできないことである。

言語は1人の脳から別の人の脳へと、寸分適わぬ不変の形で用いる手段として設計されてきたわけではない。もちろん、人間は全体としては、情報を共有したり、やり取りしたりするために極めて効果的に言語を用いる。だが実際的な日常レベルでは、人々に正確に自分の意味することを確実に理解してもらえないことをだれでも知っている。仕事の世界に関するジャーナリスト解説者のガイ＝プラウニングは、以下のように指摘している。

100万匹の魚群は自分たちの間で『ロミオとジュリエット』を書くことはできないかもしれないが、瞬時にそろって向きを変えることができる。人間のチームリーダーは言語を使って6人から成るチームに指示を出せるが、その指示は6つの全く違

ったやり方で解釈される。

最善の努力をしたにもかかわらず、よく誤解が生じるのは、だれかが言葉にしたものの中にあいまいでないたった1つの意味が見出されることなどめったにないからだ。しかし解釈の違いはいつも「誤解」であるとは限らない。複雑で興味深い方法で提示された考えを扱うときは、理解の仕方に違いが出るのはごく当たり前で、歓迎されるときさえある。そうでなければシェークスピアの戯曲の新解釈はあり得ないし、我々がそうした解釈に興味を持つはずはない。著者の多くは、読者が自分の「メッセージ」を誤解したことを知ってよく困惑するだろうが、彼らは必ずしもこのことを自分の落ち度と見なすべきではない。どんな文章であっても読むという行為は、著者のコミュニケーションを図る努力や意図だけでなく、読者の解釈しようとする努力にもかかっているものなのだ。

第四十二回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(5) パート1.

(1)

Every day // we hear / about the problem of hunger / in Africa.

「毎日」 「私達は耳にする」 「飢餓の問題について」 「アフリカにおける(飢餓)」

Many authorities cite causes /, such as drought and overpopulation.

「多くの関係機関はいろいろな原因を挙げている」 「たとえばかんばつや人口過剰のような(原因を)」

They suggest solutions /, such as food aid and population control.

「彼らは解決策を提案している」 「例えば食料援助や人口抑制のような(解決策を)」

It is true / that such realities as drought and overpopulation /

「それは確かだ」 「かんばつや人口過剰のような現実が」

worsen the problem of hunger / in Africa.

「飢餓の問題を悪化させている」 「アフリカにおいて」

第四十三回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(5) パート2.

However //, these realities are not the real cause / of Africa's famine /,
「しかしながら」 「これらの現実は真の原因ではない」 「アフリカの飢餓の(真の原因)」

the origin of which / is poverty /, and only by doing something /
「なぜならアフリカの飢餓の原因は」 「貧困だ(からだ)」 「そして何かすることによつてのみ」

about poverty itself // can we solve the hunger problem / in Africa.
「貧困それ自体に対して」 「我々は飢餓問題を解決できる」 「アフリカの(飢餓問題を)」

I am not suggesting /
「私はthat以下のことを言っているのではない」

that we ignore the problem / of drought and overpopulation.
「我々がその問題を無視する(べきだ)と」 「飢餓と人口過剰の(問題を)」

第四十四回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(5) パート3.

On the contrary //, I believe / we should study them carefully /

「むしろそれどころか」 「私は思う」 「我々はそれらをもっと慎重に調査すべきだと」

in order to learn / what lies behind them.

「知るために」 「それらの背後にあるものが何なのかを(知るために)」

Let us look, first /, at drought.

「まず見てみよう」 「干ばつを」

Insufficient rainfall is a problem / for farmers / all over the world.

「雨不足は問題である」 「農民にとって」 「世界中の(農民にとって)」

But it is only the truly poor / who die from it.

「しかし真に貧しいものだけなのだ」 「それ(雨不足)が原因で死ぬのは」

How, then /, did Africans become so poor?

「ではなぜ」 「アフリカ人はそんなに貧しくなったのか」

第四十五回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(5) パート4.

In the past several hundred years /, with the help of European colonizers //,
「過去数百年間」 「ヨーロッパの入植者たちの手を借りて」

the best farm lands were taken / and planted / in cash crops for export /,
「最も肥沃な土地は取りあげられてしまった」 「そして植えられた」 「輸出用の換金作物が(植えられた)」

with profits going / to a few of the wealthy.
「そしてその利益は行ってしまった」 「少数の豊かな者に」

Consequently //, there has not been enough food / produced for the poor majority /,
「その結果」 「十分な食料がなくなってしまったのだ」 「貧しい大多数の者のために作られる(十分な食料が)」

and it is these already hungry people / who are so affected by drought.
「そしてこれら既に飢えた人たちなのである」 「かんばつによって大きな影響を受けるのは」

(2)

飢餓

Every day // we hear / about the problem of hunger / in Africa.

関係機関 あげる

干ばつ

Many authorities cite causes /, such as drought and overpopulation.

They suggest solutions /, such as food aid and population control.

It is true / that such realities as drought and overpopulation /

worsen the problem of hunger / in Africa.

However //, these realities are not the real cause / of Africa's famine /,

原因

貧困

the origin of which / is poverty /, and only by doing something /

about poverty itself // can we solve the hunger problem / in Africa.

I am not suggesting /

~を無視する

that we ignore the problem / of drought and overpopulation.

むしろそれどころか

On the contrary //, I believe / we should study them carefully /

in order to learn / what lies behind them.

Let us look, first /, at drought.

不十分な

Insufficient rainfall is a problem / for farmers / all over the world.

But it is only the truly poor / who die from it.

How, then /, did Africans become so poor?

入植者たち

In the past several hundred years /, with the help of European colonizers //

換金作物

the best farm lands were taken / and planted / in cash crops for export /,

利益
with profits going / to a few of the wealthy.

その結果
Consequently //, there has not been enough food /

大多数
produced for the poor majority /,

～に影響を受ける
and it is these already hungry people / who are so affected by drought.

(3)

Every day we hear about the problem of hunger in Africa.

Many authorities cite causes, such as drought and overpopulation.

They suggest solutions, such as food aid and population control.

It is true that such realities as drought and overpopulation worsen the problem of hunger in Africa.

However, these realities are not the real cause of Africa's famine, the origin of which is poverty, and only by doing something about poverty itself can we solve the hunger problem in Africa.

I am not suggesting that we ignore the problem of drought and overpopulation. On the contrary, I believe we should study them carefully in order to learn what lies behind them.

Let us look, first, at drought.

Insufficient rainfall is a problem for farmers all over the world.

But it is only the truly poor who die from it.

How, then, did Africans become so poor?

In the past several hundred years, with the help of European colonizers, the best farm lands were taken and planted in cash crops for export, with profits going to a few of the wealthy. Consequently, there has not

been enough food produced for the poor majority, and it is these already

hungry people who are so affected by drought.

(大谷女子大学)

【全訳】

私たちは毎日、アフリカの飢餓の問題を耳にする。関係機関の多くが、干ばつや人口過剰といったものを飢餓の原因にあげ、さらに、食料援助や人口抑制のような解決策を提案している。干ばつや人口過剰といった事実が、アフリカの飢餓問題を悪化させているのは確かである。しかし、こういった事実はアフリカの飢餓の本当の原因ではない。というのも、アフリカの飢餓の発端は貧困であり、貧困そのものについて何か手を打つことによってのみ、アフリカの飢餓の問題を解決できるからである。私は干ばつや人口過剰の問題を無視するように提案しているのではない。それどころか、その背後にあるものを知るために、干ばつと人口過剰の問題を注意深く研究するべきだと私は考えている。まず、干ばつについて見てみよう。雨不足は世界中の農夫にとって問題である。しかし、雨不足で死ぬのは本当に貧しい人たちだけなのである。それでは、どうしてアフリカの人々がそんなに貧しくなったのだろうか。過去数百年間、ヨーロッパ人の入植者たちの手を借りて、最も肥沃な農地は取り上げられ、そこには輸出用の換金作物が植えられ、その利益は一握りの豊かな人たちのものとなった。その結果、十分な食べ物が大多数の貧しい人たちに作られることがなくなってしまったのである。そして、干ばつによって実に影響を受けるのは、これらのすでに飢えている人たちである。

第四十六回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(6) パート1.

Recently // I became the last person in America / to give in / and buy a video camera.

「最近」 「私はアメリカで最後の人間になってしまった」 「降参して」 「そしてビデオカメラを購入した(最後の人間)」

I did not buy it / for the usual reasons.

「私はそれを買ったのではない」 「ありきたりの理由で」

I am not going to use it / to record birthday parties, school plays, or piano recitals.

「私はそれを使うつもりはない」 「お誕生会や学芸会やピアノのリサイタルを記録するために(使うつもりはない)」

第四十七回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(6) パート2.

I am not going to do / what a woman sitting next to me on an airplane did /

「私はするつもりはない」 「飛行機で私の隣に座った女性がやった(ような)ことを(するつもりはない)」

, which was to shoot two or three minutes of tape / out her window /

「つまりそれ(その女性がやったこと)は2、3分テープを回す(撮影する)ことだった」 「窓から(撮影する)」

while the plane took off from Atlanta /, put her camera away /,

「飛行機がアトランタから離陸したときに」 「そして、(彼女は)カメラをしまい」

listlessly flip back and forth through an in-flight magazine /

「けだるそうに機内雑誌をあちこちばらばらと目を通し」

while humming for more than an hour /, eat only the cookie on her lunch tray /,

「一時間以上の間鼻唄と歌いながら」 「(そして彼女は)機内食のクッキーしか食べなかった」

sleep for about twenty minutes / with her mouth all the way open /,

「(そして)約20分の間眠っていた」 「口をずっと開けたままで」

take her camera back out /, and shoot two or three minutes of tape out her window /

「(そして彼女はまた)カメラを取り出し」 「そして(また彼女は)窓から2、3分テープを回した(撮影した)のだった」

while the plane landed in New York.

「飛行機がニューヨークに着陸したときに」

第四十八回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(6) パート3.

I bought my camera / for three reasons only /: first /,

「私はカメラを購入したのだ」 「たった3つの理由のためだけに(購入したのだ)」 「つまり、まず1つには」

to make a videotape of my house and all my valuable possessions /

「我が家と、自分の貴重な財産のビデオを作るためである」

, so that my insurance company will cheerfully pay my claim / in full /

「その結果、私の(入っている)保険会社は快く私の申し立て(保険請求)にお金を支払うだろう」 「全額(で)」

when my house (but not the videotape) is destroyed by fire /;

「(そのビデオテープではなく)我が家が火事で焼け落ちてしまったときに」

second /,

「そして2つめ(の理由)は」

to record my golf swing, / in the hope of determining /

「自分のゴルフスイングを記録するためである」 「はっきりと分かることを願って」

why I am such a terrible golfer / ;

「どうしてこんなに私はゴルフが下手なのか(がわかる)」

and third /, to provide occasional amusement / for my children /

「そして3つ目(の理由)は」 「時折の楽しみを与えてあげるためである」 「子供たち(のため)に」

, who are ten and seven years old /,

「なぜなら、彼ら(子供たち)は10歳と7歳なのだが」

and whose sole criterion / in judging human behavior /

「彼らの唯一の基準は」 「人間の行動を判断する際の(唯一の基準は)」

is whether or not the behavior /, if videotaped /,

S「その行動が」 「もしビデオに撮影されたとするなら」

would have a chance of being shown /

V「放映される可能性があるかどうかなのだ」

on *America's Funniest Home Videos*.

「『アメリカ爆笑ホームビデオ』に(放映される可能性があるかどうか)」

第四十九回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(6) パート4.

Why do people / who lack such focused objectives / buy video cameras?

「どうして人々が」 「このように目的を絞り込んでいない(人々が)」 「ビデオカメラを購入するのだろうか」

When my wife's sister got married //, a neighbor videotaped the reception /

「私の妻の妹が結婚したとき」 「ご近所のある人が、披露宴をビデオで撮影した」

, as a wedding gift.

「結婚祝いとして(撮影した)」

My wife and her other sister grabbed the first cassette /

「妻と(妻の)他の妹は、一本目のカセットをひったくった」

as soon as it was full /, and several of us took it inside / to watch /,

「その(一本目の)カセットが終わるやいなや」 「そして私達のうちの何人かはそれを(家の中)に持って行ったのだ」 「(そのカセットを)見るために」

even though the reception itself was still going on.

「披露宴自体がまだ続いているにもかかわらず」

第五十回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(6) パート5.

Except for the parts featuring oneself //, the tape was painfully dull.

「自分達自身が大きく映っている部分を除けば」

「そのテープはおそろしく退屈だった」

People / who might have been saying interesting things / stopped saying them /

「人々は」 「(それまで)面白いことを言っていたかもしれないような(人々は)」

「それ(話)をやめてしまった」

as soon as the camera pointed at them /, and began saying /,

「カメラが彼らの方に向いたとたんに」

「そして(彼らは)こう言い出すのだった」

”Don’t you dare point that thing at me!” / or ”Testing, testing” /

「『そんなものボクに向けたら承知しないぞ』」

「あるいは『ただ今カメラの調整中』」

or ”I can’t believe you’re taping me eating a piece of liver!” / or ”Party time!”

「あるいは『私がレバーを食べているところを撮影するなんて信じられない』」

「あるいは『盛り上がってるぜ!』」

第五十一回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(6) パート6.

Do people actually watch / the videotapes / they make?

「人々は本当に見るのだろうか」 「ビデオを」 「自分が撮影した(ビデオを)」

A tape / that takes two hours to film / requires another two hours to watch /,

「一本のテープは」 「撮影に2時間かかる(一本のテープは)」 「見るのに、更に2時間かかる」

and no one / whose life is worth taping / has that much free time.

「そして誰もいない」 「録画するだけの価値のある人生を送っている(人で)」 「そんな多くの暇を持っている(人は誰もいない)」

Furthermore //, a decision to record even a single event / has implications /

「おまけに」 「たった一つの行事をでさえそれを録画すると決めることは」 「裏の(別の)意味を持つ」

that make your head spin.

「頭がクラクラするような(別の意味)」

第五十二回

5. 実際の入試英文にチャレンジ。(6) パート7.

Once you have recorded / your child's fourth birthday party //,

「一度録画してしまうと」 「自分の子供の4歳のバースディパーティを(録画してしまうと)」

how can you justify / not recording his or her fifth?

「どうやって正当化できるだろうか」 「その子の5歳のバースディパーティを録画しないことを(正当化できるだろうか)」

Taping even a single event / forces you to permanently divide /

「たった一つの行事でさえ、それを撮影することは」 「あなたが永遠に分割してしまう方向に仕向けることになる」

the moments of your life into two non overlapping categories /

「自分の人生の時期を、2つの相いれない種類に(分割してしまう方向に仕向けることになる)」

: those that are worthy of later viewing / and those that are not.

「すなわち、後になって見る価値がある時期」 「そして見る価値のない時期に(分割してしまう)」

(注) *America's Funniest Home Videos* : アメリカのテレビ番組のタイトル

(2)

降参する

Recently // I became the last person in America / to give in and buy a video camera.

ありきたりの

I did not buy it / for the usual reasons. / I am not going to use it /

to record birthday parties, school plays, or piano recitals.

I am not going to do / what a woman sitting next to me on an airplane did /

撮影する

, which was to shoot two or three minutes of tape / out her window /

離陸する

while the plane took off from Atlanta /, put her camera away /,

けだるそうに

バラバラと目を通す

機内雑誌

listlessly flip back and forth through an in-flight magazine /

while humming for more than an hour /,

eat only the cookie on her lunch tray /, sleep for about twenty minutes /

ずっと

with her mouth all the way open /, take her camera back out /,

and shoot two or three minutes of tape out her window /

着陸する

while the plane landed in New York.

I bought my camera / for three reasons only /: first /,

財産

to make a videotape of my house and all my valuable possessions /

保険会社

快く

申し立て

全額

, so that my insurance company will cheerfully pay my claim / in full /

when my house (but not the videotape) is destroyed by fire /; second /,

to record my golf swing, / in the hope of determining /

why I am such a terrible golfer / ; and third /,

時折の 楽しみ

to provide occasional amusement for my children /

唯一の 基準

, who are ten and seven years old /, and whose sole criterion / in judging human behavior /

is whether or not the behavior /, if videotaped /,

would have a chance of being shown / on *America's Funniest Home Videos*.

絞り込んだ目的

Why do people / who lack such focused objectives / buy video cameras?

披露宴

When my wife's sister got married //, a neighbor videotaped the reception /

ひったくる

, as a wedding gift. My wife and her other sister grabbed the first cassette /

as soon as it was full /, and several of us took it inside / to watch /,

even though the reception itself was still going on.

～を除いて

恐ろしいほど つまらない

Except for the parts featuring oneself //, the tape was painfully dull.

People / who might have been saying interesting things / stopped saying them /

as soon as the camera pointed at them /, and began saying /,

”Don't you dare point that thing at me!” / or ”Testing, testing” /

レバー

「盛り上がってるぜ」

or ”I can't believe you're taping me eating a piece of liver!” / or ”Party time!”

Do people actually watch / the videotapes they make?

A tape / that takes two hours to film / requires another two hours to watch /,

～する価値がある

おまけに

and no one / whose life is worth taping / has that much free time. Furthermore //,

行事

意味

クラクラする

a decision to record even a single event / has implications / that make your head spin.

一度～すると

Once you have recorded / your child's fourth birthday party //,

～を正当化する

how can you justify / not recording his or her fifth?

永遠に

Taping even a single event / forces you to permanently divide /

相いれない

種類

the moments of your life into two non overlapping categories /

価値がある

: those that are worthy of later viewing / and those that are not.

(3)

Recently I became the last person in America to give in and buy a video camera. I did not buy it for the usual reasons. I am not going to use it to record birthday parties, school plays, or piano recitals. I am not going to do what a woman sitting next to me on an airplane did, which was to shoot two or three minutes of tape out her window while the plane took off from Atlanta, put her camera away, listlessly flip back and forth through an in-flight magazine while humming nasally for more than an hour, eat only the cookie on her lunch tray, sleep for about twenty minutes with her mouth all the way open, take her camera back out, and shoot two or three minutes of tape out her window while the plane landed in New York.

I bought my camera for three reasons only: first, to make a videotape of my house and all my valuable possessions, so that my insurance company will cheerfully pay my claim in full when my house (but not the videotape) is destroyed by fire; second, to record my golf swing, in the hope of determining why I am such a terrible golfer; and third, to provide occasional amusement for my children, who are ten and seven years old, and whose sole criterion in judging human behavior is whether or not the behavior, if videotaped, would have a chance of being shown on America's Funniest Home Videos.

Why do people who lack such focused objectives buy video cameras? When my wife's sister got married, a neighbor videotaped the reception, as a wedding gift. My wife and her other sister grabbed the first cassette as soon as it was full, and several of us took it inside to watch, even though the reception itself was still going on. Except for the parts featuring oneself, the tape was painfully dull. People who might have been saying interesting things stopped saying them as soon as the camera pointed at them, and began saying, "Don't you dare point that thing at me!" or "Testing, testing" or "I can't believe you're taping me eating a piece of liver!" or "Party time!"

Do people actually watch the videotapes they make? A tape that takes two hours to film requires another two hours to watch, and no one whose life is worth taping has that much free time. Furthermore, a decision to record even a single event has implications that make your head spin. Once you have recorded your child's fourth birthday party, how can you justify not recording his or her fifth? Taping even a single event forces you to permanently divide the moments of your life into two non overlapping categories: those that are worthy of later viewing and those that are not.

(横浜国立大学)

【全訳】

国内で最後までビデオカメラは買うものかと頑張っていた私も、最近ついに降参して、ビデオカメラを買ってしまった。ありきたりの理由で買ったのではない。私は誕生パーティだの、学芸会だの、ピアノのリサイタルだのを録画するためにビデオカメラを使うつもりはない。私は飛行機で隣の席に座った女性がしたことをするつもりはない。その女性は飛行機がアトランタを離陸する間に、窓越しに2、3分間テープを回して撮影すると、カメラをしまい、30分以上の間、ふがふがと鼻唄を歌いながらだるそうに機内誌をあちこちばらばらとめくり、機内食はクッキーしか食べず、ずっと口を開けたまま20分ほど眠ると、カメラをまた取り出し、飛行機がニューヨークに着陸する間に、窓越しに2、3分間テープを回して撮影したのだった。

私がカメラを買った理由は3つしかない。第一に、私の家と貴重な全財産のビデオテープを作ること。そうすれば、私の入っている保険会社は火事で私の家が（そのビデオテープではなく）焼け落ちても私の保険金請求に快く満額支払いをするだろう。第二に、私のゴルフ・スウィングを録画すること。これで私がゴルフがこんなにへたな理由がはっきりわかると期待してのことだ。そして第三に、子供たちをたまに楽しませてやること。私の子供たちは10歳と7歳で、人間行動の彼らの唯一の判断基準は、もしビデオに録画されるならば、その行動が『アメリカ爆笑ホームビデオ』で放映される可能性があるかないかなのである。

このように目的を絞り込んでいない人たちがなんだっってビデオカメラを買うのだろう。私の妻の妹が結婚した時、隣人が結婚祝いとして披露宴を録画してくれた。私の妻と別の妹は1本目のカセットが終わるやいなや、それをひったくり、披露宴そのものがまだ続いているのに、私たちのうちの何人かはそのカセットを見るために家の中に持って行った。自分が大きく映っている部分を除けば、そのテープはおそろいことを言っていたのかしく退屈だった。それまで面白もしれない連中がカメラが向けられたとたん話をやめ、「そんなものを俺に向けたら承知しないぞ」とか、「ただいまカメラの調整中」とか、「ウッソー、私がレバーを食べてるところを撮るなんて」とか、「盛り上がってるぜ」とか言い出すのだった。

人は自分の撮ったビデオテープを本当に見るのだろうか。撮影するのに2時間かかるテープを見るにはもう2時間が必要だし、その人生が録画する価値のある人にはそんなに多くの暇はない。その上、一つの行事にしたって、それを録画すると決めることは頭がくらくらするような結果になることが予想される。自分の子供の4歳の誕生日を録画してしまえば、どうやってその子供の5歳の誕生日を録画しない

ことを正当化できるだろうか。一つの行事でさえ、それを録画するということは、永遠に自分の人生の時期をいやでも2つの相容れない種類に分けなければならないことになる。後になって見る価値のある時期と、後になって見る価値のない時期とに。